

こんにちは

日本共産党

日本共産党
横浜市議員団
2009.11.4号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)
電話 671-3032 FAX 641-7100
E-mail: info@jcp-yokohama.com
http://www.jcp-yokohama.com/

横浜市議団です

市長に予算要望書を提出

切実な市民の願いに応える予算編成を

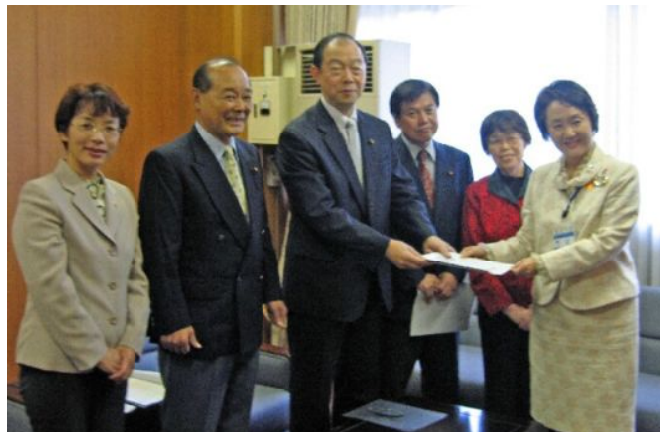
日本共産党横浜市議団は2日、「2010年度横浜市の予算編成に対する日本共産党の重点要望」を、林文子市長に提出しました。

年末に向かうなか、国民の暮らし向きの厳しさは、ますます深刻となっています。横浜では、7年余の中田市政の「構造改革路線」による弊害・ひずみも加わり、市長が所信表明でその認識を示した「格差と雇用不安」の深刻さが367万市民に重くのしかかっています。

要望書では、今年度取り組んだ市民アンケートへの回答や、各界・各層の方々との懇談会で出された要望などをもとに、当面の重点的な政策課題を4つの柱立て、227の小項目にまとめました(右参照)。

大貫団長は市長に要望書を手渡し、「市長は市政運営方針にある子どもや福祉施策を優先して実行するといっているが、その思いは私たちと同じなので、応援していきたい」と述べました。また、各議員から、特に要望することとしてお産のできる施設、少人数学級、中小企業の仕事おこし、弱者へのセーフティーネットなどについて話が出されました。

林市長は、「全区役所をまわり、現場をじかに見てきた。また寿町の簡易宿泊所を見学し、高齢者が一人で亡くなっていく様子に胸がつぶれそうになった。子育て、福祉についてのお約束は必ず実行する。その代わりに、たとえばお金のある方に敬老パスの負担を多くしてもらおうとか、お金を作り出す手段について議員のみなさんにご相談していきたい」と述べました。



予算要望書を林市長(右)に手渡す(左から)白井正子、中島文雄、大貫憲夫、河治民夫、関美恵子の各議員＝11月2日横浜市中区市庁舎

2010年度横浜市予算編成に対する 日本共産党の重点要望

- I 安心して子どもを産み育てられる横浜、行き届いた教育を
産科・小児医療の充実、小児医療費助成、保育所、学校教育・生涯教育の充実等(73項目)
- II 福祉・医療を充実させ、市民の命とくらしを守るために
介護保険、障害者施策、国保、市税の減免、保健・医療施策の充実等(51項目)
- III 中小商工業者の育成と市内経済の循環促進を
中小零細業者対策、商店街振興策、制度融資、公共工事、雇用創出、農業政策等(48項目)
- IV 環境にやさしい、基地のない平和で安全な街づくりを
開発規制、地球温暖化対策、公共基盤整備、災害対策、公共交通、平和等(55項目)

予算要望書全文は、日本共産党市議団の「横浜市議団」で検索を！
ホームページをごらんください。